

まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略 施策評価シート

1. 施策概要「PLAN(計画)」

番号 4 - 1

基本目標④	“健康長寿のまち”に ⇒生涯現役で安心して幸せに暮らせる環境を創る		◇介護を必要としない人の年齢85歳	
施策	概要		KPI	目標値
健康・体力づくりの推進	生活習慣病の予防と改善、健康寿命の延伸のため、壮年期からの健康づくりのため、運動や体力づくりを推進する。		週1回以上運動している人の割合	42%
KPI推移	H27 35.6%	H28 35.6%	H29 36.9%	H30 H31 備考 対象：65歳未満の市民ドック受診者

2. 実施状況「DO(実施)」(枝番○はH30新規事業)

枝番	事業名	担当課	概要(目的と内容)	有効性 (事業継続の必要性)
	主な活動指標	H29活動実績	改善状況・今後の方向性 新規事業はH30の進捗状況(6月末現在)	H29成果実績
1	健康プロモ推進事業	健康課	健康寿命の延伸に資するため、健康管理アプリを企業ぐるみで活用し、現役世代の積極的な健康づくりを推進する。	○
	健康ナビ参加者数(申請人数)	338 人	今年度末をもって現行制度内容での実施を終了する。なお、青壮年期の健康づくりについては、別の仕組みを検討する。「従業員の健康管理(づくり)も企業責任」というCSRの意識を高め、働き方改革支援制度などと連動した仕組みを構築する必要がある。	36.9 %
2	健康づくり推進事業	健康課	生き生きとした生活と住民同士の信頼関係の構築に向け、市民、地域が協力して健康づくりに取り組む。	○
	健康ポイント参加者数(申請人数)	8,552 人	青壮年期の健康づくりへの動機づけ、継続性、習慣づくりが課題である。仕事・育児・PTAなどに1日の時間の多くを費やす青壮年期のライフスタイルに、いかに健康づくりの時間を取り込むかの仕組みを検討する。	(36.9) %
3	スポーツ振興事業	生涯スポーツセンター	健康づくりの推進と競技団体の活動支援のため、スポーツ系団体への補助等を行う。	○
	市民が自主的に実施するスポーツ大会の参加者数	6,553 人	自治協に体力測定会を促し開催数の増。「個」への多彩な健康支援、情報発信を行う。	(36.9) %
4				

3. 施策の分析「CHECK(評価)」と「検証」

①基本目標の視点から見た施策の評価について	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
	創生本部コメント 基本目標に直接効果のある施策である。			
②施策の方向性に対して事業設定が妥当かどうか	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
	創生本部コメント 施策に直接効果のある事業で妥当である。			

4. 今後の方向性「ACTION(改善)」

次年度において対応すべき事項	創生本部コメント 現在の進捗ではKPI達成には厳しい。既存事業の見直し等により若年層への取組を強化すること。 各事業について、今後の方向性に沿って必要な改善を行う。 ICT等を活用する等、企業と協力しながら健康づくりを推進すること。
----------------	---

まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略 施策評価シート

1. 施策概要「PLAN(計画)」

番号	4	-	2
----	---	---	---

基本目標④	“健康長寿のまち”に ⇒生涯現役で安心して幸せに暮らせる環境を創る		◇介護を必要としない人の年齢85歳	
施策	概要		KPI	目標値
地消地産と食育の推進	豊かな自然や風土により生産された安全・良質な食材を地域で消費する流通サイクルの確立と市民の食に対する安全意識の向上を図る。		学校給食での養父市産品使用割合	学校給食30%
KPI推移	H27 27%	H28 20%	H29 17%	H30 -
				H31 備考 学校給食(野菜・重量ベース)

2. 実施状況「DO(実施)」(枝番○はH30新規事業)

枝番	事業名	担当課	概要(目的と内容)	有効性 (事業継続の必要性)
	主な活動指標	H29活動実績	改善状況・今後の方向性 新規事業はH30の進捗状況(6月末現在)	H29成果実績
1	学校給食管理運営事業	学校給食センター	学校給食を「教材」として活用しながら食育の推進を図る。	○
	学校給食で市内産野菜等の使用割合	17%	市内のハウス栽培事業所からの定期購入を進める。市内生産者団体との連携を継続し、使用量向上を図る。	17%
2	健康な食の拠点づくり事業	健康課	健康寿命の延伸を図るため、安全で良質、健康的、独創的な食の提供等食の総合的な取組を実施。	○
	食堂・物販の売上	5,523 千円	食堂運営、メニュー開発などについて、シルバー人材センターと月1回検討会を実施。県栄養士会に依頼し、栄養価計算の実施や食の健康協力店の登録など知名度アップを図る。	-
3				
4				

3. 施策の分析「CHECK(評価)」と「検証」

①基本目標の視点から見た施策の評価について	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	概ねある	高い	一部見直し
	創生本部コメント 基本目標に直接効果のある施策である。			
②施策の方向性に対して事業設定が妥当かどうか	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	概ねある	高い	妥当である
	創生本部コメント 施策に直接効果のある事業で妥当である。			

4. 今後の方向性「ACTION(改善)」

次年度において対応すべき事項	創生本部コメント 現在の進捗ではKPI達成には厳しい。既存事業の見直しに加え、新たな事業を構築するなどの見直しを要する。 高付加価値の製品の生産に取り組んでいる中で、低価格で大量の食材を必要とする給食センターへの対応は難しい部分があるが、どのような課題があり、課題のクリアに何が必要か検討を行うこと。 健康長寿につながるような、他の指標を検討する必要がある。
----------------	--

まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略 施策評価シート

1. 施策概要「PLAN(計画)」

番号	4	-	3
----	---	---	---

基本目標④	“健康長寿のまち”に ⇒生涯現役で安心して幸せに暮らせる環境を創る		◇介護を必要としない人の年齢85歳	
施策	概要		KPI	目標値
高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進	高齢者の就労ニーズに合わせた就労に関する取組を推進する。特に国家戦略特区の規制緩和も視野に入れ(公社)養父市シルバー人材センターによる地域課題の解決(農、観光、子育て、福祉分野など)に資する取組を促進する。		シルバー人材センターの幹旋による高齢者の就労数	50,000人日
KPI推移	H27 48,468	H28 48,028	H29 48,972	H30 H31 備考

2. 実施状況「DO(実施)」(枝番○はH30新規事業)

枝番	事業名	担当課	概要(目的と内容)	有効性 (事業継続の必要性)
	主な活動指標	H29活動実績	改善状況・今後の方向性 新規事業はH30の進捗状況(6月末現在)	H29成果実績
1	放課後ふるさと教育事業(再掲)	こども育成課	養父市を愛する心の醸成を図るため、シルバー人材センター等の会員による文化や技術の継承を行う。	○
	ふるさと教育実施回数	27 回	学童クラブに加えこども園でも実施した。講座内容を検討する。	- 人日
2	子育てヘルパー事業(再掲)	こども育成課	育児の不安感、負担感の解消、技術の継承のため、ヘルパーによる家事援助、育児支援を行う。	○
	ヘルパー派遣利用者数	5 人	満3歳までの子どもの家庭に拡充し、健康課の母子事業関係課と連携し、利用ニーズの把握に努め、必要な策を講じる。母子事業の機会を捉えてチラシの配布を行う。	- 人日
3	高齢者生きがい活動支援事業(再掲)	農林振興課	農業による高齢者の生きがいづくりの推進のため、空き家再生による宿運営と営農等の体験機会の提供。	○
	就業延べ人員数	581 人	収支の向上を目指し、補助金が無い場合での事業継続の検討を図る必要がある。農業体験を通じた交流人口の拡大等の課題を解決するため、30年度から市民農園制度を利用した「わくわく学ぶ農活事業」をスタートする。	- 人日
4	老人福祉一般事務費(シルバー人材センター補助金)	社会福祉課	「生涯現役社会」実現のため、高齢者活用・現役世代雇用サポート事業、地域就業機会創出・拡大事業を実施。	○
	会員数の拡大	463 人	定期的な入会説明会の開催等により会員の募集をすとともに、就業開拓、就業機会の提案、促進、開拓を推進。	48,972 人日
5	健康な食の拠点づくり事業(再掲)	健康課	健康寿命の延伸を図るため、安全で良質、健康的、独創的な食の提供等食の総合的な取組を実施。	○
	食堂・物販の売上	5,523 千円	食堂運営、メニュー開発などについて、シルバー人材センターと月1回検討会を実施。県栄養士会に依頼し、栄養価計算の実施や食の健康協力店の登録など知名度アップを図る。	-

3. 施策の分析「CHECK(評価)」と「検証」

①基本目標の視点から見た施策の評価について	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
創生本部コメント 基本目標に直接効果のある施策である。				
②施策の方向性に対して事業設定が妥当かどうか	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
創生本部コメント 施策に直接効果のある事業で妥当である。				

4. 今後の方向性「ACTION(改善)」

次年度において対応すべき事項	創生本部コメント 現在の進捗ではKPI達成には厳しい。既存事業の見直しに加え、新たな事業を構築するなどの見直しを要する。 各事業について、今後の方向性に沿って必要な改善を行う。
----------------	--

まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略 施策評価シート

1. 施策概要「PLAN(計画)」

番号	4	-	4
----	---	---	---

基本目標④	“健康長寿のまち”に ⇒生涯現役で安心して幸せに暮らせる環境を創る		◇介護を必要としない人の年齢85歳			
施策	概要		KPI	目標値		
疾病予防と健康づくりの推進	高齢になっても健康で住み慣れた地域で元気に暮らせるよう、若いときからの健康づくりとまちぐるみできめ細やかな健康管理・疾病の早期発見と生活習慣病予防を図るための取組を進める。		特定保健指導利用率	60%		
KPI推移	H27	H28	H29	H30	H31	備考
	32%	38%	49%			

2. 実施状況「DO(実施)」(枝番○はH30新規事業)

枝番	事業名	担当課	概要(目的と内容)	有効性 (事業継続の必要性)
	主な活動指標	H29活動実績	改善状況・今後の方向性 新規事業はH30の進捗状況(6月末現在)	H29成果実績
1	健康増進事業	健康課	生活習慣病の有病者や予備軍を減少させるため、保健師や管理栄養士が働きかけやアドバイスを行う。	○
1	特定保健指導未利用者勧奨数	70人	H30より第3期特定健康診査等実施計画期間となり特定健診・保健指導が実施率を上げやすい運用ルールの見直しと、保医課の看護師配置により保健指導利用率の向上が見込める。健康課の保健師・管理栄養士と保険医療課の看護師が連携して訪問・電話により、八鹿病院では希望の有無に関わらず特定保健指導を実施できるように依頼。	49%
2				
3				
4				

3. 施策の分析「CHECK(評価)」と「検証」

①基本目標の視点から見た施策の評価について	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
	創生本部コメント 基本目標に直接効果のある施策である。			
②施策の方向性に対して事業設定が妥当かどうか	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
	創生本部コメント 施策に直接効果のある事業で妥当である。			

4. 今後の方向性「ACTION(改善)」

次年度において対応すべき事項	創生本部コメント 現在の進捗ではKPI達成には厳しい。事業を強化し利用率の向上を図ること。事業について、今後の方向性に沿って必要な改善を行う。
----------------	--

まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略 施策評価シート

1. 施策概要「PLAN(計画)」

番号	4	-	5
----	---	---	---

基本目標④	“健康長寿のまち”に ⇒生涯現役で安心して幸せに暮らせる環境を創る				◇介護を必要としない人の年齢85歳		
施策		概要			KPI	目標値	
公立八鹿病院、市立診療所の医師確保による医療機関の安定運営		継続的かつ安定的な医療提供のため、公立八鹿病院の深刻な医師不足及び市立診療所の医師の高齢化に対応する取組を実施する。			八鹿病院医師数	45人	
KPI推移	H27(H28.4.1)	H28(H29.4.1)	H29(H30.4.1)	H30	H31	備考	
	41人	36人	38人				

2. 実施状況「DO(実施)」(枝番○はH30新規事業)

枝番	事業名	担当課	概要(目的と内容)	有効性 (事業継続の必要性)
	主な活動指標	H29活動実績	改善状況・今後の方向性 新規事業はH30の進捗状況(6月末現在)	H29成果実績
1	やぶ医者プロジェクト事業	保険医療課	医師不足解消のため、就学資金、環境づくり等へ補助を実施し、へき地でがんばる医師を顕彰する。	○
	医学生入学時特別就学金交付件数	1件	中堅医師と専門医の確保の要望を実施。八鹿病院と情報交換を密にし、医師のニーズや病院経営の課題を共有しながら改善策を検討していく。やぶ医者大賞表彰式は、実施内容の見直し充実を図る。八鹿病院の現状等を広く公開し、市民の同病院の持続に対する意識醸成、魅力ある病院となることにより医師に長期・安定的に勤務してもらえる仕組みづくりが必要と考える。	38人
2				
3				
4				

3. 施策の分析「CHECK(評価)」と「検証」

①基本目標の視点から見た施策の評価について	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
	創生本部コメント 基本目標に直接効果のある施策である。			
②施策の方向性に対して事業設定が妥当かどうか	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
	創生本部コメント 施策に直接効果のある事業で妥当である。			

4. 今後の方向性「ACTION(改善)」

次年度において対応すべき事項	創生本部コメント 現在の進捗ではKPI達成には厳しい。既存事業の見直しに加え、新たな事業を構築するなどの見直しを要する。 事業について、今後の方向性に沿って必要な改善を行う。
----------------	---

まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略 施策評価シート

1. 施策概要「PLAN(計画)」

番号	4	-	6
----	---	---	---

基本目標④	“健康長寿のまち”に ⇒生涯現役で安心して幸せに暮らせる環境を創る		◇介護を必要としない人の年齢85歳			
施策	概要		KPI	目標値		
介護予防の推進	地域ぐるみでの介護予防の場を拡大することを推進し、地域において自立支援に資する取組やすべての高齢者が生きがい・役割をもって生活できるための取組を推進する。		毎日元気にクラス開催箇所	60箇所 (累計)		
KPI推移	H27	H28	H29	H30	H31	備考
	13箇所	26箇所	38箇所			累計

2. 実施状況「DO(実施)」(枝番○はH30新規事業)

枝番	事業名	担当課	概要(目的と内容)	有効性 (事業継続の必要性)
	主な活動指標	H29活動実績	改善状況・今後の方向性 新規事業はH30の進捗状況(6月末現在)	H29成果実績
1	介護予防事業(虚弱予防事業)	介護保険課	健康寿命を延伸するため、高齢者の虚弱化予防プログラムとの拡大と、各地区の虚弱予防教室を支援する。	12 箇所
	実施地区数の増加	12 地区	高齢者健康調査結果に基づき「元気にクラス」の効果についてPRし、実施地域の拡大を図る。健康課・シルバー・各自治協と連携して、地域ぐるみでの介護予防・健康づくりの場を拡大し、フレイル予防、給付費の削減に努める。	
2				
3				
4				

3. 施策の分析「CHECK(評価)」と「検証」

①基本目標の視点から見た施策の評価について	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
	創生本部コメント 基本目標に直接効果のある施策である。			
②施策の方向性に対して事業設定が妥当かどうか	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
	創生本部コメント 施策に直接効果のある事業で妥当である。			

4. 今後の方向性「ACTION(改善)」

次年度において対応すべき事項	創生本部コメント 現在の進捗でいけばKPI達成の見込み。引き続き各事業の円滑な進捗を図ること。事業について、今後の方向性に沿って必要な改善を行う。やっただけで終わることなく、区単位でなく少数のグループでも継続して運動していくことが重要である。
----------------	--

まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略 施策評価シート

1. 施策概要「PLAN(計画)」

番号	4	-	7
----	---	---	---

基本目標④	“健康長寿のまち”に ⇒生涯現役で安心して幸せに暮らせる環境を創る		◇介護を必要としない人の年齢85歳			
施策	概要		KPI	目標値		
地域ぐるみによる消防・防災体制の充実	自主防災活動の拡大や避難態勢の確立など、市民の防災意識の向上に努めるとともに、災害時における市民の安全確保のための伝達機能を向上させる。		防災訓練参加者数	15,000人		
KPI推移	H27	H28	H29	H30	H31	備考
	10,016	10,910	11,093			

2. 実施状況「DO(実施)」(枝番○はH30新規事業)

枝番	事業名	担当課	概要(目的と内容)	有効性 (事業継続の必要性)
	主な活動指標	H29活動実績	改善状況・今後の方向性 新規事業はH30の進捗状況(6月末現在)	H29成果実績
1	自主防災組織事業	防災安全課	防災意識の高揚と災害への備えの充実のため市民参加型の防災訓練を実施する。	○
	養父市一斉避難訓練区を単位とした防災訓練の実施数	145 区	八鹿地域のモデル地区訓練で高柳小学校を指定避難所とし、指定避難所開設訓練を実施する。平成31年度には、市総合防災訓練を実施し、大規模参加型の訓練に取り組む。火災防御訓練に一人でも多くの市民参加を促す。	11,093 人
2				
3				
4				

3. 施策の分析「CHECK(評価)」と「検証」

①基本目標の視点から見た施策の評価について	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
	創生本部コメント 基本目標に直接効果のある施策である。			
②施策の方向性に対して事業設定が妥当かどうか	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
	創生本部コメント 施策に直接効果のある事業で妥当である。			

4. 今後の方向性「ACTION(改善)」

次年度において対応すべき事項	創生本部コメント
	現在の進捗ではKPI達成には厳しい。既存事業の見直しに加え、新たな事業を構築するなどの見直しを要する。 事業について、今後の方向性に沿って必要な改善を行う。